

輝く卒業生たち

三井物産株式会社

梅村 隆司さん

Profile

滋賀県出身。学費面を含む自立をめざして休学、社会経験を積んで復学。2020年3月滋賀大学経済学部社会システム学科夜間主コース卒業。同年4月三井物産株式会社入社、デジタル総合戦略部ユーザーエクスペリエンス改革室配属、2022年5月よりデジタル総合戦略部DX第一室所属。データサイエンスとファイナンスの知見を活かし活躍中。

多様な経験から見つけた自分が輝ける場 目標は世界の人びとの豊かな暮らし

大学卒業の 意義を改めて実感

現役で滋賀大学に進学しましたが、経済を学ぶには、自らの視野を広げてからの方が良いのではと考え休学し、全国各地で多種多様な仕事に就きました。さらに実社会で経験を積むために、復学できることを確認のうえ、学則をふまえて一旦退学したのですがまったく採用されず、大学中退という立場に対する社会の厳しさに直面。事業の意思決定ができる仕事に就き、経済や労働環境の底上げに貢献しようという決意し、滋賀大学に再入学しました。

自力で考察、実装した 持続可能な取り組み

大学生活に戻ってからは貪欲に学び、結果、成績優秀者として表彰を受けることに。宮西賢次先生のゼミでは、財務諸表分析や企業価値手法などを学修。数理的知見と分析力が深まると共に、ロジカルとクリティカルな双方からの考察力や折衝力などが養われました。また、それまではビジネスでの利益追求と還元を目を向けていたのですが、課題解決によって新たな価値を創造し、利益創出、社会貢献を実現



することが重要と認識が変化。ガーナでのインターンシップに参加しました。現地では体調不良に陥ったことから、ガーナの生活全般のデータを徹底的に分析。食生活でのタンパク質の欠乏を突き止め、現地の大豆を使って豆腐スイーツを販売したところ、好評を得ました。こうした現場での課題発見と分析、実装というプロセスを実践できたこと、現地の課題解決に持続可能な提案ができたことは大きな収穫となりました。

大学生活を充実させ、 最適な選択を

ガーナでの経験を機に、世界の暮らしを豊かにするという目標ができました。そのためには、まず栄養問題を解決する食材開発やその拡販などを、オーナーシップを持って大規模に創出できる商社を志望。

「世界中の未来をつくる」を理念に掲げる三井物産に惹かれ、就職しました。現在は全社員の業務のDX化と、デジタルによる新規事業創出に取り組んでいます。これからの時代は何事にもデジタルが不可欠。大学時代の経験も活かし、目標達成に必要な知見と能力を磨いていきます。私は入学から卒業まで紆余曲折ありましたが、今とても充実した生活を過ごせています。なので、後輩や高校生のみなさんには将来や人生において、自分が輝ける仕事や場を間違えずに選んでほしいと思います。就職も会社ではなく、得意分野や強みを活かせる職種で選ぶほうが、豊かな人生につながると私は考えています。大学では専門以外の領域も学びつつ、学外活動やアルバイトなどもいろいろチャレンジすることをおすすめします。そうすれば自分が最も輝けるもの・ことがわかり、最適な選択ができるはずです。

